

予 算 要 求 資 料

令和5年度5月補正予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111(内3784)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 395,000 千円 (現計予算額： 105,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	105,000	105,000	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	395,000	0	0	0	0	0	0	0	395,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※現計予算額：R4.3月補正繰越

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、原材料・エネルギー価格等の高騰の影響により、厳しい経営環境に直面している地場産業を営む県内中小製造事業者に対し、アフターコロナに対応した新商品開発・生産に資する設備導入に要する経費の一部を支援するため、当補助金の募集をしたところである。

当補助金の申請件数は、令和3年度から令和4年度にかけて約倍増となっており(R3：61件⇒R4：102件)、令和4年度の交付決定額は「469,129千円(66件)」となっている。

また、本年5月には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」へ引き下げられる予定であるなど、今後、社会経済活動が正常化へ向かっていく中で、設備投資などの機運が高まってくることが想定される。

そこで、将来を見据えた新商品開発や設備投資などの取組みを手厚く支援することで、事業者の事業継続・発展を支え、地域経済の活性化を図るべく、増額補正を行うもの。

(2) 事業内容

アフターコロナ対応の新商品開発に係る設備導入・改良

- 対象者：地場産業を営む県内中小製造事業者
- 補助対象経費：機械装置費、システム構築費、専門家経費
- 補助率：2/3
- 上限：1,000万円(下限100万円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内地場産業の振興に繋がるものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	395,000	機械装置費、システム構築費、専門家経費
合計	395,000	

決定額の考え方

物価高騰下における支援の優先順位等を考慮し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県経済・雇用再生 戦略（令和5年3月）」

5 県産品の世界展開プロジェクト

<地場産業の振興>

(4) 地場産業の持続可能な発展に向けた支援

(2) 国・他県の状況

国がエネルギー価格等の物価高騰に対応した経済対策を実施。

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

県内地場産業の振興は県の重要な施策であり、県が事業主体となることは妥当。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金
補助事業者（団体）	地場産業事業者等 （理由） 地場産業がこれまで培ってきた技術や人材を次世代に引き継ぎつつ地場産業全体の生産性向上を図るべく、県内地場産業による前向きな設備投資を支援していく。
補助事業の概要	（目的） 地場産業事業者のアフターコロナに向けた生産性の向上及び競争力強化の取組みを支援 （内容） 設備導入経費の一部を補助する
補助率・補助単価等	定率 （内容） 設備導入に対する支援（補助率：2/3） （理由） 補助事業者に一定割合の負担を求めるため
補助効果	地場産業事業者の生産性向上及び競争力強化
終期の設定	終期令和4年度 （理由） 地場産業関係者の事業意欲を喚起するため、本事業において単年度で集中的に支援するため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか アフターコロナを見据え、地場産業事業者の生産性向上及び競争力強化を図る</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 補助採択件数	/	51	50	60	60	85%

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	-	-	248,409

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	
	指標① 目標： 40 実績： 51 達成率： 128 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	地場産業事業者の貴重な経営資源を次世代に引き継ぎ地場産業を守るために必要である
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、原材料・エネルギー価格等の高騰の影響により、厳しい経営環境に直面している地場産業を営む県内中小製造事業者の貴重な経営資源(人材・技術など)が維持できなくなる恐れがある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地場産業関係者の事業意欲を喚起するため、本事業(単年事業)において集中的に支援する。
--